

つちおと

令和元年5月28日発行
宮城復興局気仙沼支所気仙沼市笹が陣3-5
気仙沼市シルバー人材センター内

4/7㊦

気仙沼大島大橋が開通
～ つながった「命の橋」～

宮城県

気仙沼市

祝 一般県道大島浪板線 気仙沼大島大橋 開通



祝辞を述べる橋副大臣



テープカットで喜び合う関係者一同（前列左から4人目が橋副大臣）

本土への架橋が長年にわたる願いだった大島では、東日本大震災の際3週間もの間、孤立状態におかれました。その大島において、4月7日、大島浪板線 気仙沼大島大橋の開通式が行われました。セレモニーは橋復興副大臣のほか、国会議員をはじめ知事や地元住民など多くの関係者が出席し、盛大に行われました。橋の開通は防災面や救急医療に加え、日常生活、観光など多岐にわたる島の振興につながるものと期待されます。

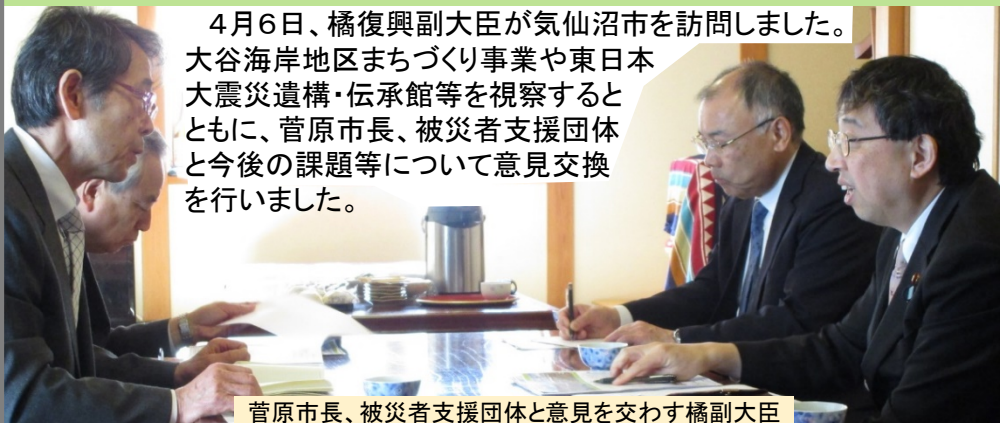


4/6㊦

橋復興副大臣が気仙沼市を訪問
～ 被災地に向き合い続ける ～

4月6日、橋復興副大臣が気仙沼市を訪問しました。

大谷海岸地区まちづくり事業や東日本大震災遺構・伝承館等を視察するとともに、菅原市長、被災者支援団体と今後の課題等について意見交換を行いました。



菅原市長、被災者支援団体と意見を交わす橋副大臣



大谷海岸地区にて菅原市長から説明を受ける橋副大臣



遺構・伝承館を視察する橋副大臣

4/13 ㊦

気仙沼市まち・ひと・しごと 交流プラザ「^{ウマレル}創」がオープン！



渡辺復興大臣の祝辞を代読する小谷野宮城復興局長

4月13日、市観光物産センターと市勤労青少年ホームを合築・再建した「気仙沼市まち・ひと・しごと交流プラザ」がオープンしました。同施設は、復興交付金及び災害復旧事業費約12億5,200万円により整備されました。「創(ウマレル)」との愛称が与えられ、「ラヂオ気仙沼」や気仙沼市移住・定住支援センター「MINATO」、会員制シェアスペース「□ship」等が入ります。昨年、オープンした商業施設「迎(ムカエル)」と、今後完成するスローストリート等と合わせ、内湾地区のにぎわい再生に向け期待されます。



お茶っこの乾杯で祝福し合う関係者

4/25 ㊦

南三陸町生涯学習 センターがオープン！



テープカットを行う原川宮城復興局次長(左から2人目)

5/8 ㊦

牧野復興副大臣が気仙沼 市を訪問 ～ともに歩む～

5月8日、牧野復興副大臣が気仙沼市を訪問し、復興状況の確認を行うとともに、黙祷を献げました。



復興状況を確認する牧野副大臣(右)



4月25日、南三陸町生涯学習センターがオープンしました。セレモニーには原川宮城復興局次長が参加し、テープカットのあとは子供たちによる合唱が行われる等にぎやかなものとなりました。同施設は、被災した南三陸町図書館と志津川公民館の複合施設で、震災復興特別交付税約6億7千万円のほか、災害復旧事業費等により再建されました。町の公共施設の災害復旧による整備はこれで完了となりました。

進む震災復興【三陸沿岸道路（仮称）気仙沼湾横断橋】 ～ 主塔2基設置が完了 ～

三陸沿岸道路は、東日本大震災からの復興に向けたリーディングプロジェクトであり、（仮称）気仙沼湾横断橋は、その一部として平成23年度に事業化された気仙沼道路（気仙沼中央IC～唐桑南IC（仮称））に含まれる橋梁です。（仮称）気仙沼湾横断橋は、長さ1,344m、海上部分は680mで、主塔から延びた鋼ケーブルで道路を吊り支える斜張橋としては青森ベイブリッジ（青森市、498m）を抜き東北最長となり、令和2年度までの完成を目指し工事が鋭意進められています。

（仮称）気仙沼湾横断橋 完成フォトモンタージュ

設置作業1日目の状況

このたび、5月10日及び15日の両日で架橋する工程で大きなポイントとなる海上部主塔の設置が無事完了し、横断橋を支える2基の「主塔」がそいました。

設置作業1日目は、朝6:30から最大3千トンまで吊り上げ可能なクレーン船で、主塔下段（高さ65m、重さ890トン）を横になった状態で吊り上げ、主塔を垂直に起こして海上の橋脚に連結しました。作業時間は吊り上げから連結完了までで約8時間でした。設置作業2日目、主塔上段（高さ約30m、重さ320トン）を吊り上げ、設置済みの主塔下段の上に取り付け、無事海上主塔の設置が完了しました。

今後は、車が走行する「橋桁」を「やじろべえ」のように主塔を中心にバランスを取りながら順番に延ばしていく工事が6月ごろから本格的に進められます。

①主塔下段を横になった状態で吊り上げ

②主塔下段を垂直に起こす

③主塔下段を橋脚に連結

工事監督を行っている仙台河川国道事務所気仙沼分室の手間本建設専門官にお話を伺いました。「気仙沼湾横断橋は、復興を目指す気仙沼市のシンボルとなり得る地元市民期待の事業です。今後橋桁の工事が本格化するため、事故等が発生しないよう現場管理を徹底し、水域利用者や復興関連事業と調整を行いながら、安全で円滑な工事に取り組んでいきたい。また、気仙沼湾横断橋が開通したあかつきには、東日本大震災からの復興への「架け橋」となることを期待しています。」とのお話をいただきました。

◆支所長コラム

令和元年スタートです。新元号「令和」…春の訪れを告げ見事に咲き誇る梅の花のように一人ひとりが明日への希望とともに、それぞれの花を大きく咲かせることができる、そうした日本でありたいとの願いが込められ決定されました。われわれ復興庁としても、復興・創生期間残り2年となり、復旧・復興事業の完遂や復興のステージの進展による新たな課題への対応等、復興期間の総仕上げに向けて全力で取り組む姿勢であり、地域に密着した気仙沼支所としても支所職員一同、現場主義の徹底や、被災者に寄り添った地域目線に心がけ「地域の皆様が明日への希望と、それぞれの花を大きく咲かせること」ができるよう問題解決に取り組んで行きたいと思います。

この4月から支所長として着任した高橋信也と申します。気仙沼市、南三陸町の着実な復興に向け、微力ではありますが精一杯地域皆様のために努めて参りたいと思います。どうぞよろしくお願いいたします。（高信）

復興関連イベント＜東北ワイド版＞

各地で開催される
復興イベントをご紹介します。

【6月1日(土)～6月2日(日)】 東北絆まつり 2019 福島 ～福島市～

復興と鎮魂をテーマに開催される「東北絆まつり」。今年の会場は福島市となりました。東北絆まつりパレード、東北6市6祭りブース、福島県内13市及び浜通り地方の町村PRブース、スポーツ体験ブース他、様々なイベントが開催される予定です。東北絆まつり実行委員会 <http://tohoku-kizunamatsuri.jp/>

【6月8日(土)】 なとイトレイルウォーク！！ ～名取市～

1,000kmの道を一本でつなぐ長距離自然歩道【みちのく潮風トレイル】の全線開通を記念して開催される同イベントは、仙台空港から閑上までの約8kmを震災からの復興を肌で感じながら歩きます。スペシャルゲストにタレントのなすびさんも登場します。名取市クリーン対策課 環境保全係 <https://www.city.natori.miyagi.jp/>



徳仙丈山のつつじ



これまでに発行した「つちおと」は、復興庁ホームページで御覧いただくことができます。

復興庁HP (<http://www.reconstruction.go.jp/>)

⇒宮城復興局 ⇒気仙沼支所だより「つちおと」

【編集後記】

◆梅雨もまだのところ、夏が来た感じです。季節のかわり目は体調管理に注意です。

「つちおと」発行元(お問い合わせ先)

復興庁 宮城復興局 気仙沼支所

電話 0226-23-5301

FAX 0226-23-5310